

令和5年度各会計当初予算

主 な 事 業 の 説 明

# 目 次

## ＜消防特別会計＞

- 1 空気呼吸器更新事業 . . . . . P 1

## ＜学校給食特別会計＞

- 1 空調設備更新事業 . . . . . P 2
- 2 学校給食調理業務委託事業 . . . . . P 3
- 3 学校給食運送業務委託事業 . . . . . P 4

## ＜清掃特別会計＞

- 1 ごみ収集運搬業務 . . . . . P 5
- 2 最終処分場維持管理業務 . . . . . P 6
- 3 ごみ処理施設維持管理業務 . . . . . P 7
- 4 焼却灰・飛灰セメント原料化業務 . . . . . P 8
- 5 焼却灰埋立処分業務 . . . . . P 9
- 6 循環型社会形成推進地域計画策定業務 . . . . . P 10
- 7 十和田ごみ焼却施設建物調査報告業務 . . . . . P 11
- 8 十和田ごみ焼却施設定期修繕 . . . . . P 12
- 9 十和田粗大ごみ処理施設定期修繕 . . . . . P 13

## ＜衛生特別会計＞

- 1 一次処理センター維持管理業務 . . . . . P 14
- 2 一次処理センター定期修繕 . . . . . P 15

## ＜火葬特別会計＞


- 1 火葬場指定管理者管理運営業務 . . . . . P 16
- 2 火葬炉設備定期修繕 . . . . . P 17

## ＜十和田市消防団事務受託事業特別会計特＞

- 1 防火衣・防火帽整備計画 . . . . . P 18
- 2 活動服（上下）整備計画 . . . . . P 19

## ＜消防通信指令事務協議会特別会計＞


- 1 消防指令センター設備部分更新事業 . . . . . P 20

予算要求説明資料			会計名	消防特別会計																							
事業番号	消防-1	事業名	空気呼吸器更新事業																								
区分	新規・拡充・継続																										
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳																									
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																					
0	3,094千円					3,094千円																					
特定財源の名称等（補助率）																											
国： 県： その他：																											
<b>■事業の目的</b> 令和3年度に策定した空気呼吸器整備計画及び空気ボンベ整備計画に基づき、耐用年数（15年）を迎える空気呼吸器一式（空気ボンベ含む）を更新するものです。																											
<b>■事業内容</b> 六戸タンク2に配備している空気呼吸器4基を更新対象とし、空気呼吸器1基につき空気ボンベ2本（予備ボンベ1本含む）を付帯資器材として更新します。																											
<b>■事業効果</b> 災害現場で発生する有害ガス等から消防隊員の安全を確保することにより、円滑な消防業務の遂行を可能とします。																											
<b>■事業費・積算根拠</b> <b>【事業費】</b> 空気呼吸器一式（空気ボンベ含む） <u>3,094千円</u>																											
（内訳） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">・空気呼吸器</td> <td style="width: 10%;">337,700円</td> <td style="width: 10%;">×</td> <td style="width: 10%;">4基</td> <td style="width: 10%;">=</td> <td style="width: 10%;">1,350,800円</td> <td style="width: 10%;">（税込み）</td> </tr> <tr> <td>・空気ボンベ</td> <td>217,800円</td> <td>×</td> <td>8本</td> <td>=</td> <td>1,742,400円</td> <td>（税込み）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">3,093,200円</td> <td style="border-top: 1px solid black;">（税込み）</td> </tr> </table>							・空気呼吸器	337,700円	×	4基	=	1,350,800円	（税込み）	・空気ボンベ	217,800円	×	8本	=	1,742,400円	（税込み）	合 計					3,093,200円	（税込み）
・空気呼吸器	337,700円	×	4基	=	1,350,800円	（税込み）																					
・空気ボンベ	217,800円	×	8本	=	1,742,400円	（税込み）																					
合 計					3,093,200円	（税込み）																					
																											
空気呼吸器			空気ボンベ																								

予算要求説明資料			会計名	学校給食特別会計			
事業番号	給食-1	事業名	空調設備更新事業				
区分	新規・拡充・継続						
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳					
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
0	4,653					4,653	
特定財源の名称等（補助率）							
国 : . . . . . 事業交付金（補助率 %）							
県 : . . . . . 事業補助金（補助率 %）							
その他：							
<b>■事業の目的</b>							
<p>・背景・経緯／現状や課題</p> <p>十和田・六戸学校給食センターが竣工した平成10年度から23年経過し、施設稼働時から使用している空調設備（冷暖房機器）の老朽化が著しく部品供給が途絶え保守契約も締結できないことから設備一式を更新するものです。</p> <p>令和3年度後半に一度故障した際は、交換部品の入手が難航し復旧まで1か月以上の期間を要しました。</p>							
<p>・目的</p> <p>十和田・六戸学校給食センターの老朽化した空調設備（冷暖房機器）の更新を行います。</p>							
<b>■事業内容</b>							
令和5年度に実施設計、令和6年度に更新工事を行います。							
<b>■事業効果</b>							
冷暖房設備を更新することにより能率よく給食業務を行うことができるほか、適切な換気によりコロナ感染対策となります。							
<b>■事業費・積算根拠</b>							
空調設備更新工事の実施設計業務一式 4,653,000円（業者見積による）							
<b>■過去の実績など</b>							
平成10年度の給食センター建替工事により設備新設、現在まで更新なし。使用期間23年。							
令和4年2月に電磁弁が故障し冷媒用フロンガスが漏出。故障期間1か月以上、修繕費用約60万円。							



空調設備の室外機（現設備）

予算要求説明資料			会計名	学校給食特別会計																							
事業番号	給食-2	事業名	学校給食調理業務委託事業																								
区分	新規・拡充・ <b>継続</b>																										
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳																									
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																					
119,447	120,213					120,213																					
特定財源の名称等（補助率）																											
国：・・・・・・・・・・事業交付金（補助率　％）																											
県：・・・・・・・・・・事業補助金（補助率　％）																											
その他：																											
<b>■事業の目的</b>																											
・背景・経緯／現状や課題																											
<p>高度な衛生管理が求められる学校給食を安定供給するため、令和2年度から3年度までの期間で調理業務委託を実施しました。</p> <p>令和3年度に、令和4年度から8年度までの5年間の期間で新たに契約を締結しました。</p> <p>委託実施後現在まで食中毒事故及び危険異物混入事故による給食停止は発生していません。</p>																											
・目的																											
安全安心な学校給食を安定して提供するため、調理業務委託を行います。																											
<b>■事業内容</b>																											
対象施設　十和田・六戸学校給食センター 十和田湖畔学校給食センター																											
<b>■事業効果</b>																											
委託開始後、給食提供に伴う事件事故の発生はなく、栄養士は献立作成と食育指導に専念できるようになりました。																											
<b>■事業費・積算根拠（令和5年度）</b>																											
<table border="0"> <tr> <td>十和田・六戸センター</td> <td>委託料</td> <td>112,148</td> <td>千円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>十和田湖畔センター</td> <td>同</td> <td>8,065</td> <td>千円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>120,213</td> <td>千円</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>							十和田・六戸センター	委託料	112,148	千円				十和田湖畔センター	同	8,065	千円				計		120,213	千円			
十和田・六戸センター	委託料	112,148	千円																								
十和田湖畔センター	同	8,065	千円																								
計		120,213	千円																								
<b>■過去の実績など</b>																											
初回契約　令和2～3年度（2年間）																											
今期契約　令和4～8年度（5年契約の2年目）																											
																											

予算要求説明資料			会計名	学校給食特別会計			
事業番号	給食-3	事業名	学校給食運送業務委託事業				
区分	新規・拡充・ <b>継続</b>						
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳					
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
44,849	50,000					50,000	
特定財源の名称等（補助率）							
国：・・・・・・・・・・事業交付金（補助率　％）							
県：・・・・・・・・・・事業補助金（補助率　％）							
その他：							
<b>■事業の目的</b>							
・背景・経緯／現状や課題							
<p>十和田・六戸学校給食センターは建替前（南小西側）の施設の時代から給食の運送業務を委託しており、令和11年度に現在地に移転した後も運送業務委託を実施しています。</p> <p>業務委託により調理員は調理業務に専念できるとともに、車両の維持管理等の負担も生じないため委託は有効と考えています。</p>							
・目的							
給食を定時に、また、確実に学校に届けるため、給食の運送業務を運送業者へ委託します。							
<b>■事業内容</b>							
<p>十和田・六戸学校給食センターが提供する給食を、十和田市及び六戸町の小中学校合計26校へ2トントラック8台で運送します。</p>							
<b>■事業効果</b>							
<p>専門の運転手と整備された車両により暴風雪時や交通渋滞発生時を除いて近年遅配はなく、給食の安定供給に大きく貢献しています。</p>							
<b>■事業費・積算根拠</b>							
委託料　　50,000 千円							
業者見積に物価上昇率を想定して加算							
<b>■過去の実績など</b>							
運行日数　　年平均 200 日							



事業番号	清掃-1	事業名	ごみ収集運搬業務			
区分	新規・拡充・ <b>継続</b>					
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
287,881千円	303,646千円				1,328千円	302,318千円

特定財源の名称等（補助率）

国：

県：

その他：粗大ごみ処理手数料、（補助率 100%）

**■事業の目的・事業内容**

十和田市、六戸町、おいらせ町、五戸町、新郷村の収集場所等に排出された家庭系一般廃棄物を燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみ、粗大ごみの区分ごとに収集運搬し、指定場所へ搬入するためのものです。

**■事業費**

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1. 人件費（給与、福利厚生費等） | 166,828千円 |
| 2. 物件費（燃料費、車両費等）  | 114,324千円 |
| 3. 諸経費（一般管理費）     | 22,494千円  |

---

合計 303,646千円

予算要求説明資料			会計名	清掃特別会計			
事業番号	清掃-2	事業名	最終処分場維持管理業務				
区分	新規・拡充・ <b>継続</b>						
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳					
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
16,877千円	18,100千円					18,100千円	
特定財源の名称等（補助率）							
国： 県： その他：							
<b>■事業の目的・事業内容</b>							
十和田最終処分場及び五戸最終処分場は、破碎やリサイクル可能なものの選別等を行った後に、残ったごみを埋め立てる最終処分場です。組合では2か所の最終処分場での作業と、施設の維持管理を民間に委託しています。							
<b>■事業費・積算根拠</b>							
①人件費 11,307千円 ②直接物品費 815千円 ③業務管理費 1,212千円 ④技術経費 378千円 ⑤諸経費(一般管理費等) 4,387千円 合計 18,099千円							



予算要求説明資料

会計名

清掃特別会計

事業番号	清掃-3	事業名	ごみ処理施設維持管理業務			
区分	新規・拡充・ <u>継続</u>					
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
135,193 千円	150,021 千円				140,220 千円	9,801 千円

特定財源の名称等（補助率）

国：

県：

その他：施設搬入ごみ処理手数料、生産物売払収入、金属くず売払収入（補助率 100%）

■事業の目的・事業内容

十和田ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設に搬入された可燃ごみや粗大ごみ等の焼却、分別、破碎及びリサイクル資源の選別等の作業を適切に行っています。組合では、ごみの処理業務と施設維持管理を民間に委託しています。

■事業費・積算根拠

①人件費	106,173 千円
②直接物品費	2,974 千円
③業務管理費	6,548 千円
④技術経費	6,075 千円
⑤諸経費（一般管理費等）	28,250 千円
合計	150,020 千円

予算要求説明資料			会計名	清掃特別会計								
事業番号	清掃-4	事業名	焼却灰・飛灰セメント原料化業務									
区分	新規・拡充・ <b>継続</b>											
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳										
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
103,790千円	68,750千円					68,750千円						
特定財源の名称等（補助率）												
<p><b>■事業の目的・事業内容</b></p> <p>最終処分場の延命化を図るため、ごみ焼却により発生する焼却灰と飛灰をセメント原料化し、埋立量を減量するものです。</p> <p>しかし、世界情勢等の影響でリサイクルセメントのニーズが減少していること、近隣にはセメント原料化を行う業者が1社しかなく、毎年処理単価が上がっており、経費節減のためにセメント原料化の処理量を減らします。</p> <p><b>■事業費・積算根拠</b></p> <table> <tr> <td>焼却灰セメント原料化業務</td> <td><math>1,500 \text{ t} \times 33,000 \text{ 円} = 49,500 \text{ 千円}</math></td> </tr> <tr> <td>飛灰セメント原料化業務</td> <td><math>700 \text{ t} \times 27,500 \text{ 円} = 19,250 \text{ 千円}</math></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 = 68,750 千円</td> </tr> </table> <p><b>■過去の実績など</b></p> <p>焼却灰全量 3,800 t の内、残り 2,300 t を埋立業務で処理します。</p> <p>飛灰は全量セメント化を継続します。</p>							焼却灰セメント原料化業務	$1,500 \text{ t} \times 33,000 \text{ 円} = 49,500 \text{ 千円}$	飛灰セメント原料化業務	$700 \text{ t} \times 27,500 \text{ 円} = 19,250 \text{ 千円}$	合計 = 68,750 千円	
焼却灰セメント原料化業務	$1,500 \text{ t} \times 33,000 \text{ 円} = 49,500 \text{ 千円}$											
飛灰セメント原料化業務	$700 \text{ t} \times 27,500 \text{ 円} = 19,250 \text{ 千円}$											
合計 = 68,750 千円												

予算要求説明資料			会計名	清掃特別会計			
事業番号	清掃-5	事業名	焼却灰埋立処分業務				
区分	新規・拡充・ <u>継続</u>						
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳					
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
27,830千円	50,600千円					50,600千円	
特定財源の名称等（補助率）							
<p><b>■事業の目的・事業内容</b></p> <p>ごみ焼却施設から排出された焼却灰は全量セメント化を行っていましたが、毎年セメント原料化の処理単価が上がっており、経費節減のためと組合最終処分場の延命化を図るために、焼却灰の一部を民間の最終処分場で埋立処分を行います。</p> <p><b>■事業費・積算根拠</b></p> <p>焼却灰埋立業務                      処理予定数量 2,300 t   ×   22千円   =50,600千円</p>							

予算要求説明資料			会計名	清掃特別会計			
事業番号	清掃-6	事業名	循環型社会形成推進地域計画策定業務				
区分	新規・拡充・継続						
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳					
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,949 千円					3,949 千円	
特定財源の名称等（補助率）							
国： 県： その他：							
<b>■事業の目的・事業内容</b> 交付金の交付を受け施設整備等を行うために必要な計画であり、廃棄物処理・リサイクルシステム等についての方向性及び、具体的な施策を講じ施設の整備等の基礎となる計画を作成するものです。							
<b>■事業費・積算根拠</b> 循環型社会形成推進地域計画策定業務委託料 一式 3,949 千円							

予算要求説明資料			会計名	清掃特別会計			
事業番号	清掃-7	事業名	十和田ごみ焼却施設建物調査報告業務				
区分	新規・拡充・継続						
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳					
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,306千円					1,306千円	
特定財源の名称等（補助率）							
国： 県： その他：							
<b>■事業の目的・事業内容</b> 昭和60年に建設した十和田ごみ焼却施設は、経年(37年)による屋根や外壁等の老朽化が進んでおり、施設の駆体の老朽状況を調査し、今後の施設整備方法を検討するためのものです。							
<b>■事業費・積算根拠</b> 建物調査報告業務委託料 一式 1,306千円							

予算要求説明資料			会計名	清掃特別会計			
事業番号	清掃-8	事業名	十和田ごみ焼却施設定期修繕				
区分	新規・拡充・ <b>継続</b>						
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳					
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
150,290千円	236,500千円					236,500千円	
特定財源の名称等（補助率）							
国： 県： その他：							
<b>■事業の目的</b> ○ごみ焼却施設の焼却炉等の経年劣化による劣化部品の交換及び修繕を行い、機能及び性能維持を図るものです。							
<b>■事業内容</b> ・各設備の定期点検、部品の交換（取替・更新）、試運転調整を行います。 ①受入供給設備（ごみクレーン、灰クレーン、投入扉、エアーカーテン、投入ホッパー2号炉） ②燃焼設備（耐火物補修1・2号炉、火格子1・2号炉、油圧シリンダー1・2号炉） ③燃焼ガス冷却設備（ガス冷却室1・2号炉） ④排ガス処理設備（減温塔用空気圧縮機3台、集じん灰搬送装置） ⑤通風設備（煙道1・2号） ⑥余熱利用設備（空気予熱器2号、バグフィルタ1・2号） ⑦電気計装設備（HCL計1・2号、CO計1・2号、ばいじん濃度計1・2号）							
<b>■事業費・積算根拠</b>							
①受入供給設備		68,532千円					
②燃焼設備		57,717千円					
③燃焼ガス冷却設備		10,803千円					
④排ガス処理設備		24,676千円					
⑤通風設備		2,134千円					
⑥余熱利用設備		6,759千円					
⑦電気計装設備		9,393千円					
⑧諸経費（一般管理費等）		56,486千円					
		合 計 236,500千円					

予算要求説明資料			会計名	清掃特別会計																																																			
事業番号	清掃-9	事業名	十和田粗大ごみ処理施設定期修繕																																																				
区分	新規・拡充・ <u>継続</u>																																																						
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳																																																					
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
13,992千円	12,980千円					12,980千円																																																	
特定財源の名称等（補助率）																																																							
国： 県： その他：																																																							
<b>■事業の目的</b> ○粗大ごみ処理施設の機械設備等の経年劣化による劣化部品の交換及び修繕を行い、機能及び性能維持を図るものです。																																																							
<b>■事業内容</b> ・各設備の定期点検、部品の交換（取替・更新）、試運転調整を行います。 ①受入供給設備（粗大ごみクレーン、二軸破碎機） ②破碎設備（供給フィーダ、回転式破碎機） ③選別設備（一次磁選機） ④再生設備（金属圧縮機） ⑤電気設備（可燃ガス検知装置）																																																							
<b>■事業費・積算根拠</b>																																																							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">①受入供給設備</td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">1,404千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>②破碎設備</td> <td></td> <td style="text-align: right;">857千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>③選別設備</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,161千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>④再生設備</td> <td></td> <td style="text-align: right;">4,117千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>⑤電気設備</td> <td></td> <td style="text-align: right;">424千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>⑥諸経費（一般管理費等）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">4,017千円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合 計</td> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: right;">12,980千円</td> </tr> </table>							①受入供給設備		1,404千円					②破碎設備		857千円					③選別設備		2,161千円					④再生設備		4,117千円					⑤電気設備		424千円					⑥諸経費（一般管理費等）		4,017千円						合 計		12,980千円			
①受入供給設備		1,404千円																																																					
②破碎設備		857千円																																																					
③選別設備		2,161千円																																																					
④再生設備		4,117千円																																																					
⑤電気設備		424千円																																																					
⑥諸経費（一般管理費等）		4,017千円																																																					
	合 計		12,980千円																																																				

予算要求説明資料			会計名	衛生特別会計																
事業番号	衛生-1	事業名	一次処理センター維持管理業務																	
区分	新規・拡充・ <u>継続</u>																			
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳																		
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源														
31,350千円	31,350千円					31,350千円														
特定財源の名称等（補助率）																				
国： 県： その他：																				
<b>■事業の目的</b> ・十和田下水一次処理センターでは、地域内で収集されたし尿や浄化槽汚泥から夾雑物を取り除く前処理を行います。前処理後の汚水は次の処理のため隣接する下水処理場へ送られます。 組合では、この処理作業と維持管理を民間に委託しています。																				
<b>■事業内容</b> ・搬入されたし尿及び浄化槽汚泥の前処理 ・施設の運用と維持管理																				
<b>■事業費・積算根拠</b> ① 事業費 31,350千円 ② 概要 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・人件費</td> <td>14,005千円</td> </tr> <tr> <td>・直接物品費</td> <td>7,705千円</td> </tr> <tr> <td>・業務管理費</td> <td>1,190千円</td> </tr> <tr> <td>・技術経費</td> <td>900千円</td> </tr> <tr> <td>・一般管理費</td> <td>4,700千円</td> </tr> <tr> <td>・消費税</td> <td>2,850千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,350千円</td> </tr> </table>							・人件費	14,005千円	・直接物品費	7,705千円	・業務管理費	1,190千円	・技術経費	900千円	・一般管理費	4,700千円	・消費税	2,850千円	計	31,350千円
・人件費	14,005千円																			
・直接物品費	7,705千円																			
・業務管理費	1,190千円																			
・技術経費	900千円																			
・一般管理費	4,700千円																			
・消費税	2,850千円																			
計	31,350千円																			



予算要求説明資料

予算要求説明資料			会計名	衛生特別会計			
事業番号	衛生-2	事業名	一次処理センター定期修繕				
区分	新規・拡充・ <u>継続</u>						
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳					
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
7,106千円	28,600千円					28,600千円	
特定財源の名称等（補助率）							
国：							
県：							
その他：							
<b>■事業の目的</b>							
・十和田下水一次処理センターの機能及び性能を維持するため、劣化部品の交換及び修繕を行います。							
<b>■事業費・積算根拠</b>							
① 事業費 28,600千円							
② 概要							
・破砕機修繕（4台） 3,328千円							
・前処理装置（2台） 5,528千円							
・汚泥投入ポンプ（6台） 6,065千円							
・脱臭設備活性炭交換 5,264千円							
・高圧受電設備点検 755千円							
・諸経費（一般管理費等） 5,060千円							
・消費税 2,600千円							
計 28,600千円							

予算要求説明資料			会計名	火葬特別会計		
事業番号	火葬-1	事業名	火葬場指定管理者管理運営業務			
区分	新規・拡充・ <b>継続</b>					
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
32,626千円	32,505千円				6,021千円	26,484千円
特定財源の名称等（補助率）						
国： 県： その他：火葬場使用料、公衆電話使用料(補助率100%)						
<b>■事業の目的</b> ○火葬場の管理運営を指定管理者に行わせるものです。 ・指定管理者：株式会社協同サービス ・指定期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日						
<b>■事業内容</b> ・火葬に関する業務 ・火葬場の施設、設備等の維持管理に関する業務 ・計画及び報告書の提出に関する業務						
<b>■事業費・積算根拠</b> <火葬場指定管理料>						
	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	
区分						
予算額(見込額)	32,416	32,505	32,505	32,626	32,505	
<b>■過去の実績など</b> <指定管理者の指定の状況>						
指定期間			指定管理者			
平成23年4月1日～平成26年3月31日			株式会社 協同サービス			
平成26年4月1日～平成31年3月31日			株式会社 協同サービス			

予算要求説明資料			会計名	火葬特別会計		
事業番号	火葬-2	事業名	火葬炉設備定期修繕			
区分	新規・拡充・ <u>継続</u>					
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
17,160千円	20,746千円					20,746千円
特定財源の名称等（補助率）						
国：						
県：						
その他：						
<b>■事業の目的</b>						
○火葬場設備の経年劣化による劣化部品の分解及び修繕を行い、機能及び性能維持を図るものです。						
<b>■事業内容</b>						
・各設備の修繕、部品の交換(取替・更新)、調整を行います。						
①主・再燃焼バーナ修繕(4炉)						
②ギヤポンプ交換						
③燃焼空気送風機交換(4台)						
④ジェットエア噴射装置修繕						
⑤火葬炉部品取替						
⑥火葬炉非常用発電機エンジン等修繕						
⑦火葬炉非常用発電機制御装置更新						
⑧台車上部金物修繕(4台)						
<b>■事業費・積算根拠</b>						
①主・再燃焼バーナ修繕 3,545千円						
②ギヤポンプ交換 365千円						
③燃焼空気送風機交換 1,577千円						
④ジェットエア噴射装置修繕 1,156千円						
⑤火葬炉部品取替 338千円						
⑥火葬炉非常用発電機エンジン等修繕 3,021千円						
⑦火葬炉非常用発電機制御装置更新 3,688千円						
⑧台車上部金物修繕 1,166千円						
⑨諸経費(一般管理費等) 5,890千円						
合 計 20,746千円						

事業番号	消防団-1	事業名	防火衣・防火帽整備計画			
区分	新規・拡充・ <b>継続</b>					
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳				
		国支出 金	県支出 金	地方債	その他	一般財源
2,803千円	3,000千円					3,000千円

特定財源の名称等（補助率）

国：なし  
 県：なし  
 その他：なし

■事業の目的

令和3年度に策定した防火衣・防火帽整備計画に基づき更新するものである。

■事業内容

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	26着	23着	54着	35着	41着	40着

計 219 着（第1期）

■事業効果

以前の消防団員の防火衣の生地は、基布（ポリエステル100%）にアルミ粉末を混入した合成ゴムでコーティングした加工品であったが、今後は一般社団法人日本消防服装・装備協会による防火服としての型式認定品で、火災等の輻射熱への耐熱性や消火水への耐水・防水性などの安全性能に加え、ゴアテックスラミネート品で、高い防水性&防風性を備えながら同時に汗による内部の蒸れを外部へと放出する防火衣であるため、災害現場での安全を確保する装備として、より安全に災害活動に従事できる。

■事業費・積算根拠

防火衣・防火帽：118,550円×23着×1.1=2,999,315円

**【事業費】 3,000千円**

■過去の実績など

令和4年度実績 防火衣・防火帽：90,000円×26着×1.1=2,574,000円

**【事業費】 2,574千円**

事業番号	消防団-2	事業名	活動服（上下）整備計画			
区分	新規・拡充・ <b>継続</b>					
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳				
		国支出 金	県支出 金	地方債	その他	一般財源
5,170千円	4,605千円					4,605千円

特定財源の名称等（補助率）

国：なし  
 県：なし  
 その他：なし

■事業の目的

令和元年度に策定した活動服（上下）整備計画に基づき更新するものである。  
 なお、平成26年に消防団員の服制基準の一部が改正され、活動服について機能性及びデザイン性の向上を図り、消防団員の士気向上等に資する観点から、消防団員等の意見を踏まえ、「活動上衣」及び「活動ズボン」の形式が変更された。

■事業内容

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
事業内容	19着	185着	160着	188着	161着	713着

■事業効果

新活動服により消防団員の士気が向上し、配色は紺色を基調とし、消防の象徴カラーであるオレンジ色の配色が多く、夜間活動時等の視認性及び注目度が高いため、より安全に災害活動に従事できる。

■事業費・積算根拠

活動服：26,000円×161着×1.1=4,604,600円

**【事業費】 4,605千円**

■過去の実績など

令和4年度実績 活動服：188着 = 3,968,866円

**【事業費】 3,969千円**

予算要求説明資料			会計名	消防通信指令事務協議会特別会計		
事業番号	通信-1	事業名	消防指令センター設備部分更新事業			
区分	新規・拡充・継続					
令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	左の財源内訳				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	257,012千円					257,012 千円
特定財源の名称等（補助率）						
国： } 県： } (なし) その他： }						
<b>■事業の目的</b> 平成28年度に運用開始された上十三消防指令センターにおいて経年により修理困難となった指令機器を更新するとともに、全国的に進展する高速通信網に指令システムが対応できるように改修し、指令センターの安定稼働を図ることを目的とするものです。						
<b>■事業内容</b> (1) 指令センターと構成消防本部（署所、所有車両等含む）間に構築している指令システム等のうち、機器メーカーでの修理対応が終了したサーバーや旧式ウィンドウズ搭載PC等を更新します。 (2) 高速通信網（アナログ電話のIP網化やNTTドコモFOMA回線終了に伴う高速通信化等）に対応するため、指令システムのネットワークや携帯電話用システム等を改修します。 (3) 現在利用している住民向けテレホンサービスや消防関係機関向けの災害連絡メールシステム等のサービスが終了することから、住民サービスの低下や連絡体制の遅延を招かないよう新たなシステムを導入します。						
<b>■事業効果</b> (1) 指令センターの安定稼働 最新のシステム導入とネットワーク構築が可能となり、指令センターの安定稼働が図られるとともに、セキュリティ面の強化が見込まれます。 (2) 災害対応力の強化 指令センターと出動隊とで情報共有するための機能が強化され、災害現場の動画データを取得することができるシステム（LIVE119）を採用することで、災害対応力の向上が見込まれます。 (3) 住民サービスの向上 新たな住民向けテレホンサービスやSNS災害広報システムの導入により、回線数不足による「話し中」を軽減するとともに、メール等でも安定して災害情報の取得が可能となります。						
<b>■事業費・積算根拠</b> 各本部負担事業費内訳 (円)						
	共通経費	個別経費	計			
十和田地域広域事務組合	74,517,069	11,647,829	86,164,898			
三沢市	41,180,486	26,808,248	67,988,734			
北部上北広域事務組合	28,372,312	24,019,679	52,391,991			
中部上北広域事業組合	32,594,593	17,871,704	50,466,297			
合計	176,664,460	80,347,460	257,011,920			